

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 21 年 7 月 10 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	ボイラー燃料のガス化と潜熱回収ボイラー導入による CO2 削減事業
承認番号	JCDM-PJ0022
排出削減事業者名	株式会社天一食品商事
排出削減共同実施事業者名	株式会社三井住友銀行 (その他関連事業者名：株式会社トリリオン)
事業実施場所	スパリゾート雄琴あがりゃんせ (滋賀県大津市苗鹿 3-9-5)
事業の概要	ボイラー燃料を A 重油から都市ガス (13A) へ変更し、潜熱回収型の高効率ボイラーへ更新する事で燃料使用量の削減と CO2 排出量の削減を図るもの。
排出削減量の計画	464 tCO2/年 (事業実施期間合計 1,893tCO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2009 年 3 月 3 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2009 年 3 月 3 日～2009 年 5 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	98tCO ₂ (2009年3月3日～2009年5月31日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 承認排出削減事業計画通りにボイラーの更新が実施されていることを事前審査の現地訪問の際に確認している。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における都市ガス使用量実績の確認や現地訪問時の視認により確認している。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、事業者への質問により確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) モニタリング方法については、承認事業計画に従って、ボイラー毎の個別メーターによる計測により燃料使用量が把握されていることを確認した。 2) 都市ガス使用量の個別メーターの管理および計測値の記録・保存が設備担当者により適切になされており、月次集計値が自動で正確に集計されていることを確認した。 3) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。 4) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。
算定期間が2013年3月31日を超えないこと	算定期間は2009年3月31日までであり、2013年3月31日を超えない。

5. 特記事項

無し。

以上